

大学名： _____

教育実施状況調査票（案）

【I】全体的な状況に関すること

（1）大学の獣医学分野における基本的な情報

- ① 教育方針（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）

- ※ 今年度から共同教育課程に移行した岐阜大学、鳥取大学は必ずご回答ください。
- ※ それ以外の大学については、前回調査時から変更がある場合、変更箇所がわかるような方対でご回答ください。

② 学年別在籍数

【定員数 ()】

年	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
数												

③ 学生数及び編入学・学士入学者数(過去5年の推移)【定員数 ()】

(入学者数)

年	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
数					

(編入学・学士入学者数)

年	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
数					

④ 教育・診療スタッフ数 等

1. 教員

教員 種別	(教授)		(准教授)		(助教)		(講師)		(教員合計)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(総数)										
	<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>	
(専任)										
	<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>	
(兼任)										
	<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>	
※うち共同 施設等に所 属する者										
(兼任)										
	<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>	
※うち臨床 を担当する 教員										

(上記の他に教育に関与している教員がいる場合は、人数(男女別)・雇用形態とともにお示しください。)

種別	人数		雇用形態
	男	女	
(記入例) 特任助教	2	2	フルタイム、3年間の有期雇用

診療 要員	(有給研修医)		(無給研修医)		(有給獣医師)		(支援スタッフ)		(診療要員合計)	
	<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>		<u>(計)</u>	

事務		
職員	<u>(計)</u>	

(共同教育を実施している場合は、構成大学の教員数をまとめて以下にご回答ください。)

教員 種別	(教授)		(准教授)		(助教)		(講師)		(教員合計)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(総数)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	

※「専任」「兼任」「兼任」・・・大学設置基準の規定による

「共同施設等」・・・獣医学教育に関係の深い全学共同利用施設、大学附置研究所などに所属し、
獣医学教育に携わる教員

※ 支援スタッフについては、P10 の総計と一致させること

⑤ 教員の構成 (領域別教員(階層別)数及びその構成比) ※重複不可

	教授※1	准教授※1	助教※1	講師※1	合計	構成比(1)※2
基礎系						
(内専任)						
病態系						
(内専任)						
応用系						
(内専任)						
臨床系						
(内専任)						
合計						
(内専任)						
構成比 (2)※3						

※1 それぞれ特任教授、特任准教授、特任助教、特任講師を含む

※2 構成比(1)・・・全体の総数に占める基礎系・病態系・応用系・臨床系の各教員の割合
(分類は、モデル・コア・カリキュラムにおける教育内容に基づく)

※3 構成比(2)・・・全体の総数に占める教授、准教授、助教、講師の各教員の割合

(2) 教育内容に関する全体的な状況について

① モデル・コア・カリキュラムへの対応について

- 現在の対応状況 (完成年度＝ 年度)

※ 導入基礎科目において、モデル・コア・カリキュラムに新しく入った、概論・倫理・法規・動物行動・育種など、これまでにない新しい科目の対応状況についても併せてご記入ください。

- 現在の課題 (例えば専任教員による教育が困難な場合)

※ 専任教員による教育を実施できていない科目名をモデル・コア・カリキュラムに沿ってお示してください。

また、一人の教員が複数科目を担当している場合もその科目名をモデル・コア・カリキュラムに沿ってお示してください。

※ 大学の判断で複数のモデル・コア・カリキュラム記載科目をまとめてひとつの科目として設定している場合、貴学における科目名と、モデル・コア・カリキュラムに記載されている科目名とその対照関係がわかるようにお示してください、

※ 2枚にわたって記述いただいて結構です。

※ 併せて、参加型実習ガイドラインを提出してください。

② アドバンス教育への対応について （自由記述）

(モデル・コア・カリキュラム以外の取組状況に関し、現在の取組状況（実施科目名とその内容）、今後の方針など、記入すべき内容について、記述ください。)

【Ⅱ】個別分野の状況に関すること

(1) 応用獣医学（公衆衛生・家畜衛生）における教育状況

① 教員構成（応用系担当教員数）

教員 種別	(教授)		(准教授)		(助教)		(講師)		(合計)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(総数)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
(専任)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
(兼担)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
※共同施設等										
(兼任)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	

(上記の他に教育に関与している教員がいる場合は人数(男女別)・雇用形態とともにお示しください。)

種別	人数		雇用形態
	男	女	

(共同教育を実施している場合は、構成大学の教員数をまとめてご回答ください。)

教員 種別	(教授)		(准教授)		(助教)		(講師)		(合計)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(専任)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	

※「専任」「兼担」「兼任」・・・大学設置基準の規定による

「共同施設等」・・・獣医学教育に関係の深い全学共同利用施設、大学附置研究所などに所属し、獣医学教育に携わる教員

② 専任教員と行政機関との連携状況

○ 国・都道府県、関係機関等が設置する、家畜衛生・公衆衛生等の分野に関する委員会への参画の経験があるもの	人
○ 国(農林水産省、厚生労働省、食品安全委員会)の行う調査研究への協力(代表者、分担研究者等)の経験があるもの	人

③ 実習環境（スタッフ、実習室及び学内附属施設）の状況・特色等

○ コア・カリキュラムの実施に向けた実習環境（スタッフ、実習室・学内附属施設）の対応状況

- ※ 現状で概ね対応が可能か、課題等があるとするれば、どのような教育科目について、スタッフ、施設・設備に課題があるのか、また、それに対する大学の対応方針(予定でも可)について記述ください。
- ※ 特に、現在、専任教員による教育が実施できていない科目名を、モデル・コア・カリキュラムの記載に沿ってお示しいただくとともに、その対応状況・今後の対応方針についてお示しください。

○ 高度実習施設・設備の設置状況（例：P 3対応動物飼育施設、BSE 対応病理解剖室、大動物病理解剖室、P 2対応実習室など）

○ 平成22年度補正予算による、主な購入設備と現在の利用状況、導入による教育効果(教育改善の内容とその効果について記入)

※ 分量は増えても構いません(1～2枚程度)

(2) 附属動物病院（動物診療センター）の状況・特色など

※①、②-1、②-2については、前回調査から変更がある場合のみご記入ください。

① 附属動物病院の理念・目的・目標

※ 分量は増えても構いません(1枚程度)

② 動物病院の組織図、診療科目、教員数・診療スタッフ（研修医を含む）

1. 組織図

※ 分量は増えても構いません(1枚程度)

2. 診療科目

※ 分量は増えても構いません(1枚程度)

3. 教員・診療スタッフ等の構成（臨床担当教員数・診療要員・支援スタッフ）

教員 種別	(教授)		(准教授)		(助教)		(講師)		(教員合計)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(総数)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
(専任)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
(兼担)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
※共同施設等										
(兼任)										
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)	
※臨床教員										
任期制 教員数										

(上記の他に教育に関与している教員がいる場合は人数(男女別)・雇用形態とともにお示しください。)

種別	人数		雇用形態
	男	女	

診療 要員	有給獣医師		研修医(有給)		研修医(無給)		(診療要員計)
	(計)		(計)		(計)		(計)

支援 スタッフ	動物看護師		検査技師 (薬剤師含む)		放射線技師		その他		(支援スタッフ計)
	(計)		(計)		(計)		(計)		(計)

※「専任」「兼担」「兼任」・・・大学設置基準の規定による

「共同施設等」・・・獣医学教育に関係の深い全学共同利用施設、大学附置研究所などに所属し、獣医学教育に携わる教員

※ 支援スタッフ数については、P3の総計と一致

4. 動物病院における学用患畜数

産業動物	H20	H21	H22	H23	H24
ウマ					
ウシ					
ブタ					
緬山羊					
その他					
合計					
伴侶動物	H20	H21	H22	H23	H24
イヌ					
ネコ					
その他					
合計					

※学用患畜の数は、学生の実習において利用できる患畜の数を記入してください。

※伴侶動物の外来・往診の場合は、同じ個体が外来往診で診療を受ける毎に、1カウントしてください。入院した場合は入院日数毎に1カウントしてください。

5. 総面積等（近年の改修・増築・新築の状況、今後の予定等含む）

< 直近 10 年の改修、増築等の実績 >

< 今後 5 年程度の回収・増築等の見通し >

【Ⅲ】 進路の状況に関すること

(1) 獣医関係大学卒業者の就職状況（過去5年間の推移）等

(平成25年5月1日現在)

※ 毎年度、農林水産省からの依頼に基づいて実施している、調査の該当部分を転記すること

職種別分類			平成20年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成21年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成22年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成23年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成24年度 大学卒業者 人数(うち女性)	
大分類	中分類	小分類						
① 国家公務員	ア. 農林畜産関係	1. 一般行政 (本省、動検、動業検等)	()	()	()	()	()	
		5. 試験研究機関	()	()	()	()	()	
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	イ. 公衆衛生関係	1. 一般行政 (本省、検疫所等)	()	()	()	()	()	
		5. 試験研究機関	()	()	()	()	()	
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	20. その他		()	()	()	()	()	
	小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	② 独立行政法人職員	ア. 農林畜産関係	1. 一般行政 (家畜改良センター等)	()	()	()	()	()
			5. 試験研究機関 (動衛研等)	()	()	()	()	()
小計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
7. 教育関係 (大学教員等)		()	()	()	()	()		
20. その他		()	()	()	()	()		
小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		

職種別分類			平成20年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成21年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成22年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成23年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成24年度 大学卒業者 人数(うち女性)
大分類	中分類	小分類					
③ 都道府県職員	ア. 農林畜産関係	1. 一般行政	()	()	()	()	()
		2. 家畜保健衛生所	()	()	()	()	()
		5. 試験研究機関	()	()	()	()	()
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	イ. 公衆衛生関係	1. 一般行政	()	()	()	()	()
		3. 保健所	()	()	()	()	()
		4. 食肉衛生検査所	()	()	()	()	()
		5. 試験研究機関	()	()	()	()	()
	小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	7. 教育関係		()	()	()	()	()
20. その他		()	()	()	()	()	
小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
④ 市町村職員	ア. 農林畜産関係	1. 一般行政	()	()	()	()	()
		6. 家畜診療所	()	()	()	()	()
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	イ. 公衆衛生関係	1. 一般行政	()	()	()	()	()
		3. 保健所	()	()	()	()	()
		4. 食肉衛生検査所	()	()	()	()	()
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	7. 教育関係		()	()	()	()	()
20. その他		()	()	()	()	()	
小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

職種別分類			平成20年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成21年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成22年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成23年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成24年度 大学卒業者 人数(うち女性)	
大分類	中分類	小分類						
⑤ 会社	ア. 製薬・医療 関係	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	イ. 乳業関係	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	ウ. 食肉関係	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	エ. 飼料関係	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	オ. 実験動物 関係	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	ク. その他 (その他の企業、 民間牧場、 私立動物園、 私立研究所等)	8. 診療	()	()	()	()	()	
		9. 研究、その他	()	()	()	()	()	
	小 計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	⑥ 農業関係団体	ア. 農業協同 組合	8. 診療	()	()	()	()	()
20. その他			()	()	()	()	()	
イ. 農業共済 組合		8. 診療	()	()	()	()	()	
		20. その他	()	()	()	()	()	
10. 家畜改良事業団		()	()	()	()	()		
20. その他		()	()	()	()	()		
小 計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
⑦ 個人診療施設	11. 産業動物関係		()	()	()	()	()	
	12. 愛玩動物関係		()	()	()	()	()	
	13. 産業及び愛玩動物関係		()	()	()	()	()	
	小 計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

職種別分類			平成20年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成21年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成22年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成23年度 大学卒業者 人数(うち女性)	平成24年度 大学卒業者 人数(うち女性)	
大分類	中分類	小分類						
⑧ その他	ア. 競馬関係 団体	8. 診療	()	()	()	()	()	
		20. その他	()	()	()	()	()	
	イ. 私立学校職員 (専門学校職員を含む)		()	()	()	()	()	
	ウ. 研究機関 (公益・特殊法人研究所、 特別研究員等)		()	()	()	()	()	
	エ. 進学(含海外)		()	()	()	()	()	
	オ. 研究生(含聴講生)		()	()	()	()	()	
	カ. 自 営 (酪農家等)		()	()	()	()	()	
	キ. 海外	14. 国際機関	()	()	()	()	()	
		15. 青年海外協力隊	()	()	()	()	()	
		20. その他 (研究所等)	()	()	()	()	()	
	ク. その他		()	()	()	()	()	
	ケ. 未 定 (求職中、受験準備中を含む)		()	()	()	()	()	
	コ. 不 明		()	()	()	()	()	
	小 計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合 計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	(うち獣医師国家試験不合格者及び未受験者)			()	()	()	()	()

(2) 獣医系学科の卒業生(学士)の進路動向等に関する調査 ※学科単位の状況を回答

※セルの幅はご自由に変更して頂いて良いですが、行や列は追加しないでください。

※所在県、自地域については以下のリストを参考にしてください。

1-1. 直近4年間の自県内入学率

回答		%
----	--	---

1-2. 直近4年間の自地域内入学率

回答		%
----	--	---

2-1. 直近4年間の自県内就職率

回答		%
----	--	---

2-2. 直近4年間の自地域内就職率

回答		%
----	--	---

3-1. 直近4年間の出身県への就職率

回答		%
----	--	---

3-2. 直近4年間の出身地域への就職率

回答		%
----	--	---

大学名	所在県	所在地域
北海道大	北海道	北海道、東北
帯広畜産大	北海道	北海道、東北
酪農学園大	北海道	北海道、東北
北里大	青森	東北
岩手大	岩手	東北
東京大	東京	関東
東京農工大	東京	関東
日本獣医生命科学大	東京	関東
麻布大	神奈川	関東
日本大	神奈川	関東
岐阜大	岐阜	中部
大阪府立大	大阪	近畿
鳥取大	鳥取	中国、四国
山口大	山口	中国、四国、九州
宮崎大	宮崎	九州
鹿児島大	鹿児島	九州

(3) 大学院進学者に関する調査

※行が足りない場合は、行を追加してください。

平成25年度の大学院入学者について、「出身大学」「出身学部」「我が国の獣医師免許の有無」「前職の状況」「専門分野」「留学生に関しては出身地域」を教えてください。

※秋季入学の場合も含め、入学時期ごとにまとめる

※それぞれについて、以下の選択肢から選択してください

※「①出身大学」について、連合獣医学研究科に構成大学から進学した場合は「自大学」を選択してください

①出身大学	②出身学部	③我が国の獣医師免許	④前職の状況	⑤専門分野	⑥留学生	⑦(留学生の場合)出身国
自大学	獣医系	有	学部生(獣)	基礎	留学生	国名を記入
他大学	医学系	無	学部生(医)	応用	—	
	その他		学部生(その他)	臨床		
			勤務獣医師	病態		
			開業獣医師			
			公務員			
			企業の研究職			
			大学の研究職			
			動物看護師			
			医師			
			その他			

<平成25年度>

	①出身大学	②出身学部	③我が国の獣医師免許	④前職の状況	⑤専門分野	⑥留学生	⑦(留学生の場合)出身国
学生1							
学生2							
学生3							
学生4							
学生5							
学生6							
学生7							
学生8							
学生9							
学生10							
学生11							
学生12							
学生13							
学生14							
学生15							
学生16							
学生17							
学生18							
学生19							
学生20							
学生21							
学生22							
学生23							
学生24							
学生25							
学生26							
学生27							
学生28							
学生29							
学生30							

(4) 大学院修了者の進路状況に関する調査

※行が足りない場合は、行を追加してください。

平成24年度の大学院修了者の進路状況について、「公務員(農林水産)」「公務員(公衆衛生)」「公務員(その他)」「診療獣医師(小動物)」「診療獣医師(産業動物)」「会社(食品、製薬など関連分野)」「会社(その他)」「研究職」「その他」に分類のうえ教えてください。また、留学生についてはその旨及び出身国を明示してください。

※「④在籍期間」について、〇年〇ヶ月の場合は切り上げてください(例:3年6ヶ月の場合は4と記入)

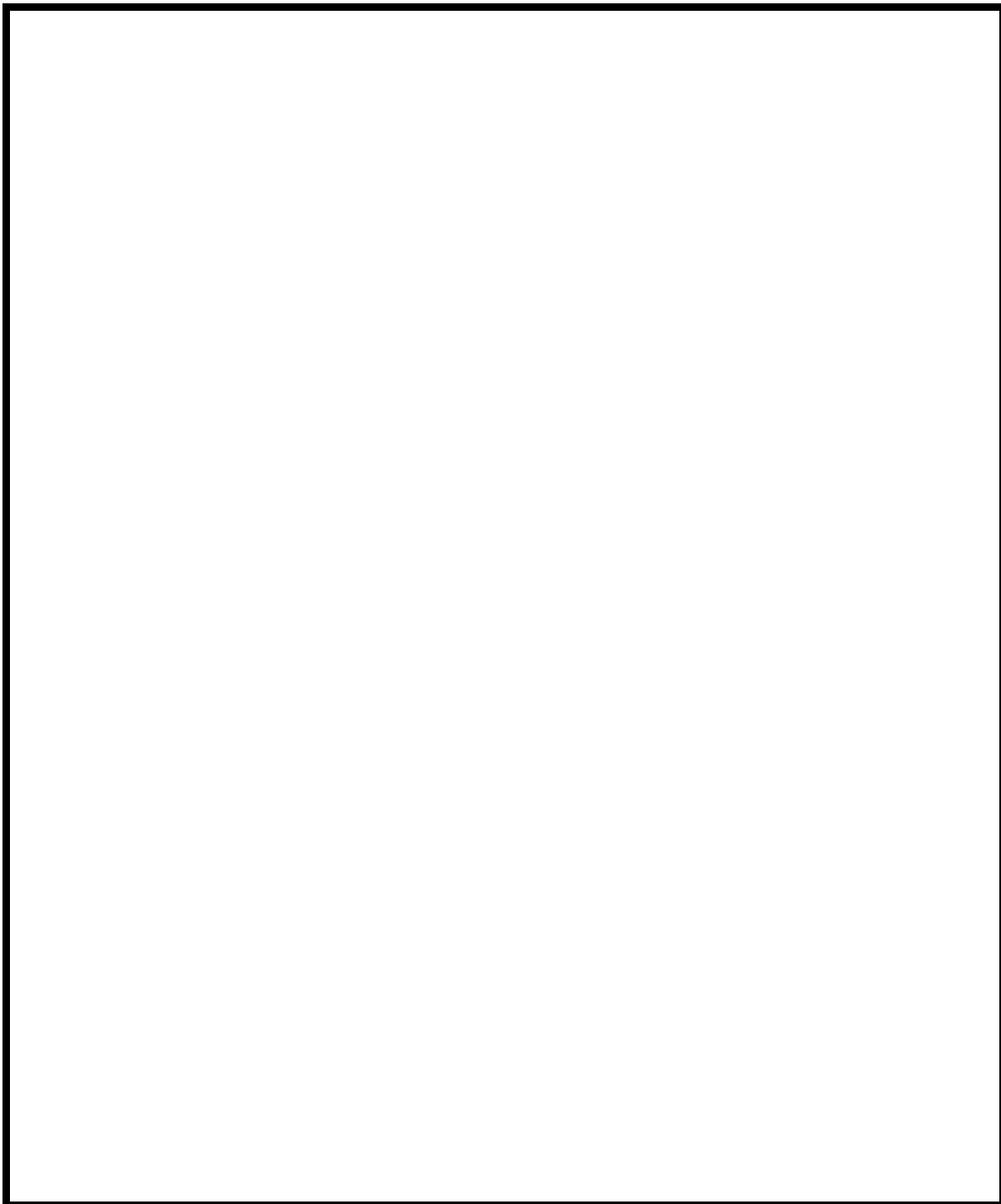
①進路状況	②専門分野	③入学年次	④在籍期間	⑤学位取得の有無	⑥留学生	⑦(留学生の場合)出身国
公務員(農林水産)	基礎	平成〇年と記入	年数を記入	有	留学生	国名を記入
公務員(公衆衛生)	応用			無	—	
公務員(その他)	臨床					
診療獣医師(小動物)	病態					
診療獣医師(産業動物)						
会社(食品、製薬など関連分野)						
会社(その他)						
大学の研究職						
その他						

<平成24年度>

	①進路状況	②専門分野	③入学年次	④在籍期間	⑤学位取得の有無	③留学生	④(留学生の場合)出身国
修了者1							
修了者2							
修了者3							
修了者4							
修了者5							
修了者6							
修了者7							
修了者8							
修了者9							
修了者10							
修了者11							
修了者12							
修了者13							
修了者14							
修了者15							
修了者16							
修了者17							
修了者18							
修了者19							
修了者20							
修了者21							
修了者22							
修了者23							
修了者24							
修了者25							
修了者26							
修了者27							
修了者28							
修了者29							
修了者30							

(Ⅳ) 大学院教育に関すること

(1) 教育方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)



(2) 選抜試験の方法

※試験科目・方法、試験の実施時期、選抜基準とその公表の有無についてお示してください。
※留学生・社会人に対して特別な措置を取っている場合には、その内容をご記入ください。

(3) 博士課程における開講科目とその教育内容

※各科目のシラバスをご提供ください。

(4) 学位論文の審査方法

※各大学における規程・内規等をご提供ください。

(5) 学位論文

※平成24年度修了者の学位論文の題名を記入してください。

学生の専攻分野	論文の題名

(6) TA・RAの状況

※平成 24 年度の実績（述べ人数・時間）と主な業務内容について簡便に記入してください。

(7) 在学期間について

① 在学期間の短縮について

※各年度の修了者における在学期間の短縮制度の利用者数をお示しください。

年	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
数					

※在学期間の短縮制度の概要について、簡便にお示しください。

② 長期履修制度について

※各年度の修了者における長期履修制度の利用者数をお示しください。

年	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
数					

※長期履修制度の概要について、簡便にお示しください。

(8) 教員の資格審査について

※ 審査基準について簡単にお示しください。(規程の添付により代えることも可)

(V) その他

正規の課程以外に、獣医師に対する継続教育のプログラムを実施している場合は、以下に記載して下さい。